

荒小学校だより

教育目標 学ぶ子 高まる子 きたえる子

柏崎市立荒浜小学校



柏崎市荒浜1丁目2番11号

TEL 0257 (23) 6611

FAX 0257 (23) 6982

mail:arahama@kenet.ed.jp

hp:https://www.kenet.ed.jp/arabama/

2021.7.5 No.470

オリンピック・パラリンピックが教えてくれるもの

校長 中村 正人

まもなく東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。柏崎関係選手も現在、五選手が参加するそうです。新型コロナウイルス対策が施された安全な開催となることを願っています。

「オリンピックは、勝つことよりも参加することに意義がある」という言葉があります。この言葉は、「近代オリンピックの父」と呼ばれるピエール・ド・クーベルタン男爵が、オリンピックを通して世界の人に伝えたい「オリンピック精神」について語った言葉です。勝つことは大切です。では、勝つことよりも大切なこととは何でしょうか。

まず、勝つためには努力が必要です。はじめに選手の「努力」から考えてみます。オリンピックに出場できるのは、ほんの一握りの限られた選手だけです。小さい頃からオリンピック出場を夢見て、努力に努力を積み重ねて練習しても、一度も負けなかった選手、挫折を経験しない選手などいないのではないのでしょうか。つまり、努力は必ず報われるわけではないのです。しかし、どの選手も、どんなに辛く、苦しくても、決して諦めずに努力し続けるのです。それは、「オリンピックに参加する」という高い目標があるからです。オリンピック選手たちは、目標を持ち、ひたすらに、純粋に、正しく努力することの尊さ、さらに、生き方を私たちに教えてくれます。オリンピック精神は、「努力の尊さ」に一つ目の意義があると考えます。

次に、選手への応援から考えてみます。オリンピックに出場できたことだけでも大変な選手たちが、さらに金メダルを目指す、というのは、本当にすごいことです。しかし、時に応援する私たちの方が勝ち負けにこだわり、負けてしまった選手に対して尊敬を欠いてしまうことがあります。また、国同士のメダルの数を争うことに夢中になり、本当にがんばっている選手のことを忘れてしまうことがあります。当然ですが、試合に勝つために精一杯戦っているのは、参加している選手たちです。私たちは勝負に一喜一憂しながらも、選手のために応援する、そして試合後には勝敗に関係なく、惜しみない拍手を送る、このことが二つ目の意義だと考えます。

最後に、オリンピックの歴史から考えてみます。昔、オリンピックには、女性は参加できなかった時代がありました。また、オリンピック選手であっても肌の色で差別されてしまうという「人種差別」の問題もありました。選手のことと関係なく国同士が争いをして、オリンピックに参加できない国もありました。障害のある人たちは、スポーツをする機会もありませんでした。私たち人間は、長い歴史の中でオリンピックを通してこれらの間違いに気づき、改善してきました。だから、今では性別や肌の色、国籍、障害の有無に関係なく、誰もがオリンピックやパラリンピックに挑戦できるようになりました。つまり、オリンピックやパラリンピックを通して「私たちは一人一人が大切な人間である」という人権の大切さを学ぶことができます。そして「世界平和」が何よりも大切だと深く感じるすることができます。これが三つ目の意義です。

オリンピック精神には、この他にも、友情や思いやり、協力やフェアプレー精神などがあり、人間のよりよい生き方に深くつながっています。せっかくの機会です、オリンピック・パラリンピックを通して、私自身はもちろんですが、学校の教育も振り返ってみるよい機会となるかもしれません。